

第1回 若手企画シンポジウム

「アニマルサイエンス若手研究者の ネットワーク作りを目指して」

時間: 3月30日(木) 13:00~16:00

場所: 九州大学 六本松地区 新1号館 N123

プログラム

第1部 学術シンポジウム

1. シバヤギを用いた成長ホルモンパルス発生機構および摂食調節機構の解析
演者: 茂木一孝 (東京大学)
2. ウマの排卵時にみられる特異性に関する研究
演者: 南保泰雄 (日本中央競馬会)
3. 生殖細胞の培養下分化系における新たな試み
演者: 恒川直樹 (東京大学)
4. 哺乳動物の卵成熟過程における卵丘膨化の役割
演者: 木村直子 (山形大学)
5. 超音波を用いた卵子活性化法の開発および体細胞クローンミニブタ作出への応用
演者: 三好和睦 (鹿児島大学)
6. 家畜改良の現状と課題 ~改良の現場で求められている研究とは~
演者: 井上慶一 (家畜改良センター)

第2部 パネルディスカッション

— 博士取得後の進路について —

学会若手委員および第1部のシンポジストをパネラーとし、会場の若手研究者を交えて、フリーディスカッションを行います。将来の進路について、パネラーの方々の経験をうかがいながら、皆様と一緒に考えて行きたいと思っております